

令和4年度地域づくり総合交付金（新型コロナウイルス感染症対策推進事業）実績 事業別一覧表

事業種別	事業者名 (市町村名・団体名)	所在地 市町村名	間接補助 事業者名	事業名	施行箇所 ・実施箇所	事業内容	事業費	額の確定額	摘要	
									額の確定日	公表日
コロナ対策	平和通買物公園50周年記念事業実行委員会	旭川市		平和通買物公園50周年記念事業		昭和47年（1972年）6月1日に全国初の恒久的歩行者天国として誕生してから、令和4年（2022年）6月1日に50周年の大きな節目を迎える旭川平和通買物公園について、50年の感謝を市民等とともに祝いするとともに、生活スタイル等が大きく変わったコロナ禍という大転換期を迎え、今後のウィズコロナ・アフターコロナに向け、新しい生活スタイルに合わせた新たな賑わいを創出する機会とするため、記念イベントを開催する。	7,058,965	3,200,000	R5.03.22	R5.05.09
コロナ対策	上川町	上川町		Neoトラベラーズ創出事業		アフターコロナを見据え、自粛生活あけの旺盛な観光需要の取り込みを図るべく、自粛生活下においても、上川町の魅力的な観光情報を効果的に発信し、コロナが終息した後に上川町を次の観光の目的地として訪れて（認知して）もらう。	5,255,000	2,600,000	R5.03.22	R5.05.09
コロナ対策	チェンソーアートマスターズエキシビジョン実行委員会	下川町		EZOCUP2022 マスターズエキシビジョン		過去9回に渡りチェンソーアート大会を開催してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により過去2年間イベントを中止にしており、新型コロナに対応した開催方法が求められている。また、これまでイベントを開催する中で地域住民のチェンソーアートや森林・林業への認知度不足が課題となっており、地域に密着したイベントに内容を変えていく必要がある。 そこで、イベント内容を従来の一つの会場で完結する競技会形式から「チェンソーアートを活用し、その空間を楽しむイベント」として新たに再構築して開催する。その中で来場者がチェンソーアート等で演出された空間を楽しんだり、森林・林業に関するワークショップを体験したりする中で、町民及び近隣住民に向けて森林・林業を身近に感じていただき、森林文化の創造や関係人口の増加に繋げていく。 実際内容 ・チェンソーアートを活用し、会場をインスタレーションで表現する。 (チェンソーアート芸術空間の会場設営、森林・林業ワークショップ等)	2,306,394	1,000,000	R5.03.15	R5.05.09
コロナ対策	びえい桜まつり実行委員会	美瑛町		びえい桜まつり（ライトアップ事業）		屋外での開催によりコロナ禍においても実施することができるイベントとして、市街地の賑わいと町民のふれあいの場を提供し、春の訪れを体感できる催しとして夜桜のライトアップを実施する。	796,324	300,000	R5.02.28	R5.05.09
コロナ対策	幌加内町	幌加内町		日赤ラボ×幌加内そば消費拡大プロジェクト事業		本町特産品であるそばの需要拡大を図るため、北海道赤十字血液センターと連携し、幌加内町が町内そば販売事業者から買取った幌加内産そばの加工麺を血液センターに贈呈し、献血者に配布することで幌加内そばの消費拡大、PR及び献血者の確保を図り、WIN×WINの事業とする。	3,208,875	1,500,000	R5.03.23	R5.05.09
合計					5件		18,625,558	8,600,000		